

## 第8回！です・「友だち作ろう ビビンの会」

イベントリーダー 浅野 麻里

ビビンの会で使うアジア文化会館101教室—いったいどれだけの人が入るでしょう。長机を二つくっつけ、そこに椅子を8つおいた「島」が8つ。それで結構いっぱいになる教室です。今回ビビンの会は、始まって以来最多、総計65名ものお客様が集まりました。スタッフも含めると77名にも上ります。椅子は足してもまだ足りず、各「島」をまとめるグループリーダーが、一時立った状態のままグループを仕切っている様子も見られました。

懇親会（ビビンの会後におこなわれる食事会）についても、40名前後の参加を見込んだにも関わらず60名ものお客様が参加して下さり、食事や飲み物はあっという間になくなりました。料理やビールは追加で購入するほどです。スタッフ一同、部屋の



会場からあふれ出しそうな沢山のお客様

中をバタバタと走り回り、お客様に指示を出すために大きな声を張り上げていました。

でもそうした状況の中、いつも私達スタッフに聞こえてくるのはお客様の笑い声です。日本語を学びたての日本語学校の方々が多く、配慮が行き届いているか心配していましたが、どうやらありがたいことに日本語が出来る韓国人のお客様や、韓国語を話せる日本人のお客様がフォローして下さっていたようです。どこのテーブルも盛り上がりお話しされていたので、次のプログラムに進むために話をやめるようお願いするのが心苦しいくらいでした。



ユーモアあふれる発表に一同大笑い

最近では、リピーターの方々も多くなり、ビビンの会の参加者が次にはスタッフとなり一緒に運営して下さる人たちが増えてきました。私もビビンの会に魅せられて当会に入ってしまった一人なので気持ちはよく分かるのですが、自分が運営する側になって同じように賛同して下さる人たちが現れるのはまた違う嬉しさがあるように思います。

ビビンの会は「日韓・アジアの友だちを作ろう」というコンセプトで運営されています。この目的を達成するには、友だちになれるような和やかな雰囲気が不可欠です。笑顔あふれる和気藹々としたムードにして下さるのは、紛れもなくお客様！ビビンの会はスタッフだけでなく、いらして下さるお客様と共に作っているのだと、再認識しました。

また、今回はビビンの会の宣伝を快く引き受けて下さった韓国料理店や日本語学校の先生方にも感謝しきれない思いです！この方々がいらっしやらなかったら、これほど多くの韓国人のお客様にいらして頂けなかったことでしょう。

そして何より言えるのは、スタッフの協力です。私の至らないところにも目をつむって、黙って一緒に運営してくれるのはいつもスタッフの人たちなのです。第8回を迎え、スタッフのチームプレイに磨きが掛かってきているように思います。それぞれが得意なところを活かし、チームで助け合う—こうして今回のような成功に結びついたのではないのでしょうか。一人で出来ることは限られているけれど、力を合わせれば出来ることが無限に広がるのだ、と皆の存在がありがたく感じられました。次の第9回ビビンの会、更なるアイデアを取り入れてもっと魅力あふれるものにしていきたいです。



無事終わって記念撮影です。ホッとしたのか、スタッフが一番嬉しそうですね。

写真提供・統一日報社様